

仏教の開祖釈尊シャクソン（釈迦族の尊者シャカ）は、29歳で出家し、6年の苦行クギョウの後、インドのガンジス流域のほぼ中央部ガヤ（現ブッダガヤ）で、大きく繁ったピッパラ樹の下で悟りを得られました。このピッパラ樹を記念して菩提樹（bodhi-tree）と云います。

菩提ボダイ（bodhi）とは、智・道・覚と漢訳され、迷いから目覚めること、さとりキョウチの境地、さとりチエの智慧、などを意味します。

釈尊は菩提樹の下で悟られ、その後一週間毎に座る樹を替え、悟りの内容の確認や、他の人々に知らすべきかなど深く瞑想メイソウし、七週間（49日）の後、正マサしく仏陀ブツに成られたのです。釈尊の成ジョウブツ仏にあやかっボンブて、私達凡夫は死んで人間では亡くなったがまだ仏ナさんには成っていない、その期間が49日なのです。